

～下田のデキゴト～



1 / 4 火の用心、地域の力、「消防団」

消防団出初式が団員163名の参加のもと下田小学校体育館で行われました。市長式辞、団長訓示、各種表彰等が行われ、団員の士気高揚が図られました。市民一人ひとり防火意識を高め、火の元の確認を行いましょう！



1 / 12 伊豆大島椿まつりを PR

伊豆大島からキャラバン隊一行が市役所を訪問しました。1月28日から3月24日まで開催される「伊豆大島椿まつり」では、約300万本の椿が島を彩ります。ぜひ大島を観光してみたいはいかがでしょうか。



1 / 15 DX 推進に向けた包括連携協定締結式

AKKODiSコンサルティング株式会社及び株式会社IRODORIと、デジタル人財の育成において連携して取り組むことにより、DXを活用した地域課題の解決に向け、3者包括連携協定を締結しました。



1 / 6. 7 早春の下田を歩き始め！

下田水仙ツーデーマーチが開催されました。全国から集まった延べ722名のウォーカーが、水仙が咲き誇る爪木崎を楽しむコースや美しい海、開国の歴史を偲ぶコースを歩いて満喫しました。



1 / 13 プロ野球選手による野球教室

広島東洋カープ所属の秋山翔吾選手をはじめプロ野球選手の方々による少年野球教室が開催されました。この野球教室を通して、賀茂地区の野球が盛り上がっていくことを期待しています。



1 / 19 国保運営協議会（答申）

下田市国民健康保険運営協議会へ諮問した国保税の賦課方法に関する事項について、同協議会から答申を受けました。受益と負担の均衡をとり、被保険者の健康寿命延伸の向上及び持続的な事業運営に努めます。

1月の
できごと

4日 下田市消防団出初式
7日 二十歳の集い
9日 市内小中学校 3学期始業式

13日 下田わくわくパークこれば！
17日 寿大学
25日 日本赤十字献血

地域子育て支援センター通信

問合せ先 地域子育て支援センター ☎02200



3月の予定

- 1日(金) おひな様製作
- 2日(土) 開館日
「これば！」スペシャル
「まっちゃんと遊ぼう」10時～11時
場所：市民スポーツセンター(サンワーク)
- 6日(水) めだかルーム 9時～11時30分
- 8日(金) わくわくタイム ＊午後閉館（清掃・消毒）
- 13日(水) あひるルーム うさぎルーム
9時～11時30分
- 14日(木) 誕生会
- 15日(金) 敷根公園で遊ぼう
- 16日(土) 開館日
- 18日(月) 体育館で遊ぼう 9時30分～11時
場所：市民スポーツセンター(サンワーク)
- 25日(月) 発育測定・育児相談 9時～11時
保健師・栄養士来所
- 28日(木) わくわくタイム＊午後閉館（清掃・消毒）
- 29日(金) 閉館（年度末事務整理日）



敷根公園で遊ぼう



誕生会

ウメのつぼみがほころび始め、ようやく季節の移り変わりを感じられるようになってきました。少しずつ春の音が聞こえてくるようです。支援センターの花壇のチューリップの球根は芽を出し、春を心待ちにしています。また、体調管理が難しい時期ですので、手洗い・栄養・睡眠で元気に過ごせるようにしていきます。支援センターでは、換気や消毒をして衛生的で安全な環境を作り、皆さまをお待ちしています。



にこにこさんと作ろう



手形でトナカイ

こんにちは、教育長です

～生きる支えとなるもの⑥～



下田中学校の学校だよりに、次のような掲載がありました。く地域のみなさまからの声く「混雑している中でいつも席を譲ってくれることが本当にうれしい。ありがとう」 「横断歩道を渡る中学生。車を停止させ、横断を確認後、発進させよう」とすると、二名の生徒がこちらを向いてお辞儀をしてくれたことに心が温まった」 私も、同じ出来事に幾度となく遭っています。稲生沢小学校下の横断歩道で二名の児童に横断を譲ると、横断後、体をこちらにむき直して深々とお辞儀をするのです。このような行動は、伊豆市の天城中学校でも実践されていて、同校の伝統となり、観光客からもお礼や感激の手紙、電話が届いていると聞きます。 「席を譲る」ことになるによく思い出す話があります。 30年ほど前、ある研修会で、故岡野俊一郎氏（元日本サッカー協会会長）の講演を聴く機会がありました。混雑する山手線で、体育会系大学生が「先輩、どうぞ」と言って上級生に席を譲っていた傍らに、老夫婦が荷物を持つて立っていた。部活動の先輩に席は譲っても、人生の大先輩に席を譲れない学生にがっかりした。重ねてもう一つの出来事。同じ車両に汗びっしょりになって一人の母親が乗ってきた。幼子二人を抱っことおんぶ、三人目の子の手を引き、もう一方の手には沢山の野菜が入った買い物かご。その姿を見て車内に座る中年の女性が、「惨めだねえ」と小声で一言。一体何が惨めなのか。学生と中年女性のあまりにも寂しく品位にかける言動にダブルパンチを受け、当時の社会を憂いていたという話です。 昭和60年前後のことですので、あれから時代は大きく変わりましたが、今は岡野氏をがっかりさせる社会ではないと信じています。冒頭のようにな心温まる行動がとられ、健やかに育っている子どもたちばかりです。「岡野さん、安心してください。子どもたち、がんばってますよ！」